

## 浮世絵展 —隅田川でたどる江戸の暮らしと文化—



歌川国貞「江戸八景ノ内 隅田つゝみの晴嵐」  
弘化（1844-1848）初期 個人蔵

### 【展覧会概要】（資料2～4ページ参照）

北茨城市出身のコレクターによる浮世絵のプライベートコレクションを紹介します。江戸時代後半から明治時代にかけての爛熟期を迎えた浮世絵の精華を示す同コレクションは、隅田川流域が育んだ豊かな暮らしと文化を今に伝えています。それらは失われた江戸の風景をあらわすと同時に、絵の中には花見やファッションを楽しむ人々の様子が息づいています。レジャーを楽しむ江戸の人々の姿からは、現代を生きる私たちの暮らしにも通じるものを見出すことができるでしょう。

歌川<sup>ひろしげ</sup>広重があらわした隅田川の名所をはじめ、「奇想の絵師」歌川<sup>くによし</sup>国芳が捉えた人々の暮らし、江戸の町民から絶大な人気を誇った歌川国貞から明治の世に活躍した月岡<sup>つきおか</sup>芳年、小林清親まで浮世絵約250点を紹介しながら、華やかな江戸文化へのご案内します。

#### 《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083  
TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711

E-mail: [kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp](mailto:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp)

展覧会担当: 塩田 积雄 (しおた しゃくゆう) / 広報担当: 大津 友美 (おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)



当館HPへ

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

### 【開催概要】

- 1 展覧会名 企画展「浮世絵展－隅田川でたどる江戸の暮らしと文化－」
- 2 会 期 令和7年(2025)4月26日(土)～6月8日(日)  
※会期中、一部展示替えあり  
(前期：4月26日(土)～5月18日(日) 後期：5月20日(火)～6月8日(日))  
  
休館日：毎週月曜日  
(ただし、4月28日[月]、5月5日[月・祝]は開館、5月7日(水)は休館)
- 3 会 場 茨城県天心記念五浦美術館 展示室A・B・C
- 4 主 催 茨城県天心記念五浦美術館
- 5 後 援 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／産経新聞社水戸支局／NHK水戸放送局／東京新聞水戸支局／  
毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／LuckyFM茨城放送／北茨城市／北茨城市教育委員会
- 6 支 援 茨城県近代美術館パートナー企業  
株式会社常陽銀行／関彰商事株式会社／ザ・ヒロサワ・シティ／株式会社アダストリア／  
茨城県近代美術館友の会／関東鉄道株式会社／イオンモール株式会社／茨城交通株式会社／  
茨城県信用組合／茨城トヨタ自動車株式会社／茨城トヨペット株式会社／学校法人リリー文化学園／  
沼尻産業株式会社／水戸ヤクルト販売株式会社
- 7 入 場 料 一般710(590)円/満70歳以上350(290)円/高校生470(360)円/小中生240(180)円  
※( )内は、20名以上の団体料金  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等  
ご持参の方および付き添いの方1名は無料  
※5月24日(土)は満70歳以上の方無料  
※土曜日は高校生以下無料
- 8 割引のご案内「和装deお得」  
着物や甚平、はっぴ、または和柄のアクセサリ等を身につけて入館いただくと団体割引が適用  
されます。
- 9 出品数 約250点
- 10 主な出品作品  
溪齋英泉 「江戸八景 隅田川の落雁」 弘化(1844-1848)頃 ※後期展示  
歌川広重 「東都名所隅田川堤の花 同向島名所一覽」 安政元年(1854)年  
歌川国貞 「江戸八景ノ内 隅田つゝみの晴嵐」 弘化(1844-1848)初期  
歌川国貞 「相撲人形花の取組 不知火諾右衛門」 弘化(1844-1848)頃  
歌川国芳 「当盛江戸鹿子 永代橋ノ景」 天保(1830-1844)前期  
歌川国芳 「東海道五十三對 桑名」 天保14～弘化4(1843-1847)年  
歌川国芳 「江戸自慢程好仕入 ござん嶋」 弘化4～嘉永元(1847-1848)頃  
歌川国芳 「荒獅子男之助」 嘉永2(1849)年  
小林清親 「向島桜」 明治13(1880)年

## 11 本展のみどころ

- (1) 江戸時代、市中を流れる最も大きな河川である隅田川は交通の要衝として栄え、その周辺には様々な文化が開花しました。本展で紹介するプライベートコレクションには、隅田川によって育まれた人々の豊かな生活の様子を生き生きと描き出されており、そうした江戸の人々の暮らしと文化に触れることができます。2025年1月に「日本ジオパーク」に再認定され、茨城を代表する山である筑波山が隅田川の遠景に描かれた作品もあり、こちらもぜひご注目ください。



けいさいえいせん 溪斎英泉「江戸八景 隅田川の落雁」  
弘化(1844-1848)頃 個人蔵 ※後期展示

- (2) 約250点の浮世絵が一堂に会します。本プライベートコレクションの一部は、これまでも全国美術展覧会で出品されてきましたが、この規模で公開されるのは今回が初の機会です。特に歌川国芳(1797-1861)の作品は100点超え。「奇想の絵師」として近年注目を集める国芳が人々の暮らしを捉えた作品もたつぷりにご堪能いただけます。
- (3) 浮世絵は読んでその字のごとく、当世のエンターテインメントの様相が描かれています。舟遊びや花見、花火大会といったレジャーに興じる人々、あるいはファッションを楽しんだり、歌舞伎鑑賞や相撲観戦など娯楽にいそしんだり、200年前の江戸の人々と現代の私たちの暮らしに意外にも共通項を見出すことができそうです。本展を通じて、私たちの生活が江戸文化の地続きにあることを再発見いただけますと幸いです。

## 12 広報文

- (1) 北茨城市出身のコレクターによる浮世絵のプライベートコレクションを紹介します。江戸時代後半から明治時代にかけての浮世絵の精華を示す同コレクションは、隅田川流域が育んだ豊かな暮らしと文化を伝えています。それらは失われた江戸の風景をあらわすと同時に、絵の中には花見やファッションを楽しむ人々の様子が息づいています。レジャーを楽しむ江戸の人々の姿からは、現代を生きる私たちの暮らしにも通じるものを見出せるでしょう。歌川広重による隅田川の名所をはじめ、「奇想の絵師」歌川国芳が捉えた人々の暮らし、江戸の町民から人気を誇った歌川国貞から明治の世に活躍した月岡芳年、小林清親まで浮世絵約250点を紹介しながら、華やかな江戸文化へのご案内します。  
(316字)
- (2) 北茨城市出身のコレクターによる浮世絵のプライベートコレクションを紹介します。歌川広重、歌川国芳から小林清親まで、隅田川によって育まれた江戸の暮らしと文化を伝える浮世絵作品約250点を公開します。  
(95字)
- (3) 北茨城市出身のコレクターによる浮世絵のプライベートコレクションを紹介します。歌川広重、歌川国芳から小林清親まで浮世絵作品約250点を公開します。  
(70字)

### 13 会期中のイベント

#### (1) 講演会

- ① 「江戸時代末期の浮世絵—美人画と名所絵を中心に—」  
歌川広重や国芳らが活躍した時代の錦絵の名所絵や美人画の特色について紹介します。  
講 師：大久保純一（町田市立国際版画美術館館長）  
日 時：5月10日[土] 午後1時30分～3時  
会 場：講堂 ※要企画展入場券(半券可)、要事前申込  
定 員：114名
- ② 「浮世絵の魅力」  
本展出品作を紹介しながら、浮世絵の魅力をお伝えします。  
講 師：塚原涼一（浮世絵蒐集家）  
日 時：5月31日[土] 午後1時30分～2時30分  
会 場：講堂 ※要企画展入場券(半券可)、要事前申込  
定 員：114名

#### (2) ワークショップ「うちわ絵づくりで体感！江戸の風」

日 時：5月24日[土] 午前の部 午前10時～、午後の部 午後1時30分～  
会 場：講座室 ※要企画展入場券(半券可)、当日受付先着順、申込不要  
定 員：各回20名程度

#### (3) ギャラリートーク

展覧会担当者が作品解説を行います。  
日 時：5月18日[日]、6月1日[日] 各日午後1時20分(約40分)  
会 場：企画展示室 ※要企画展当日入場券、申込不要

#### (4) 来て・見て・発見！アートツアー for kids

日 時：5月17日[土] 午前10時～  
会 場：講座室、講堂  
定 員：小中学生と保護者5組（1組4名まで）  
※事前申込(先着順)、保護者のみ要企画展当日入場券

#### (5) オープンワークショップ「浮世絵摺り体験」

会期中の土曜・日曜・祝日限定（ただし5月17日、24日をのぞく）で、浮世絵の簡単な摺り体験ができます。  
開催時間：午前10時～午後4時  
参加費無料

#### (6) 映画会(五浦名画座)

日 時：5月11日[日] 「赤毛のアン【完結版】」（2001年／90分／カラー／日本）  
6月8日[日] 「晩春」（1949年／108分／モノクロ／日本） ※午前の部  
「東京物語」（1953年／136分／モノクロ／日本） ※午後の部  
会 場：講堂 午前の部 9時45分～、午後の部 1時30分～(15分前開場)  
定 員：各回114名 ※無料、当日受付先着順、全席自由

【広報用図版】 ※表紙及び3ページの画像も提供可能です。



歌川広重

「東都名所隅田川堤の花 同向島名所一覽」

安政元年(1854)年



歌川国貞

「相撲人形花の取組  
しらぬいだくえもん  
不知火諾右衛門」

弘化(1844-1848)頃



歌川国芳

「当盛江戸かのこ鹿子 永代橋ノ景」

天保(1830-1844)前期



歌川国芳

「江戸自慢程好仕入 ござん嶋」

弘化4~嘉永元(1847-1848)年頃



歌川国芳

「荒獅子男之助」

嘉永2(1849)年



小林清親「向島桜」明治13(1880)年

※作品は全て個人蔵

※図版使用に際しての注意

- ・ 展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用願います。
- ・ 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。
- ・ 図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・ 図版はデータでの提供となります。

広報担当まで連絡、または右のQRコードを  
読み込んでリクエストしてください。

